

1/5 無事息災を願う
平成30年 消防出初式



平成30年の新春を飾る消防出初式が1月5日(金)、消防本部2階にて行われました。式では、一日消防長の第30代はごろもレディ仲宗根有紀さんの挨拶、消防職員による航空機災害対応訓練、女性消防団による軽可搬ポンプ操作が行われ、最後に今年一年の無事息災を祈念した一斉放水が盛大に行われました。

1/5 新年の訪れを喜び
2018年 新春の集い



1月5日(金)、ラグナガーデンホテルにおいて、宜野湾市新春の集いが盛大に開催されました。当日は1,000人余りの参加者が来場し、新年の訪れを喜びました。ステージイベントでは、歌声サークル・コール宜野湾の合唱、上地流空手道協会の空手演武、新城区自治会婦人会の舞踊が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

12/15、12/28 普天間第二小学校へのCH-53ヘリ窓落下事故に抗議・要請

12/13普天間基地所属CH-53ヘリの窓が普天間第二小学校のグラウンドに落下するという重大事故を受け、県内・県外の各関係機関へ抗議・要請を行いました。佐喜真市長は、最も安全・安心が担保されるべき小学校で生命にかかわる深刻な事故が起きた事態は言語道断であるとし、普天間飛行場所属の全ての航空機について、安全管理体制の総点検を実施し、改めて安全確認を厳格に行うとともに、安全が確認されるまでの間の飛行を停止するよう強く求めました。また12/20には、市内9つの団体で今後の対応について協議を行い、9団体共同による抗議要請を実施することが確認されました。12/28に行われた共同抗議要請行動では、9団体に普天間第二小学校PTAも加わり、県内の関係機関に対し、居合わせた児童や先生方また保護者や地域住民が受けた衝撃と不安は計りしれず強い憤りを禁じ得ないとし、宜野湾市民の願いである「普天間飛行場の固定化は絶対にあってはならず、一日も早く返還してほしい」と、返還の実現に向けて最優先で取り組むよう要請しました。



12/8 市内保育園への落下物に対する抗議・要請

12/7 普天間基地所属 CH-53 ヘリのものとみられる円筒状の部品が本市野富在の保育園で発見されたことを受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、沖縄米国総領事へ抗議・要請を行いました。佐喜真市長は、早急な原因究明の実施、公表と原因が究明されるまでの間、市街地上空および住宅地上空の飛行を停止すること等を求めました。

